

お名前 土肥 泰夫  
ご住所 熊野市  
発生時にいた場所 尾鷲町北浦  
当時の年齢 6歳

「北川」右岸にあった「地方事務所」所長宅庭で友人と遊んでいた。「風もないのにこんなに木がゆれる」が出た言葉。すぐそばの道路がするどく亀裂した。母親が走ってきて近隣の小高い丘にと連れて行った。すると尾鷲湾（堤防まで）がすっかり干上がり、海底をすっかり見せた。それは感動的な驚きであった。

津波は幾度か繰り返し帰宅すると家は柱だけ残り、小舟が突っ込み、火鉢に小魚が飛び跳ねていた。電線にたこが引っ掛かっていた。